

# 陸奥金華山と石巻・女川の震災復興に学ぶ

## スタディツアー2015 参加者募集

主催：國學院大學学術資料センター

「文化財研究拠点の構築」事業を中心とする3研究事業連携企画

東奥三霊場に数えられる陸奥金華山の研究や、東日本大震災のボランティア活動などに参加している研究者・院友たちとともに、宮城県石巻市・女川町周辺の被災・復興状況を見て、聞いて、歩く。地域に学び、東北と日本の過去・現在・未来を考えるスタディツアー。第3弾。

- 過去…石巻・女川と金華山を歩き、「地域の歴史」を学ぶ。
- 現在…被災地を訪ね、「震災の記憶」を語り継ぐ。
- 未来…そして、あたらしい時代の「選択肢」を考える。



### ■ ツアー日程と申込方法

・ **日程** ※事前説明会までに、若干変更される場合もあります。

#### 1日目 【11月21日(土)】

08:30に大学集合。途中SAにて昼食。15:00、石巻市葉山神社【講話】。18:00、女川町女川駅前再開発の現状を見学。命の石碑(1号)を経て宿舎へ。

#### 2日目 【11月22日(日)】

09:00、いのちの石碑(4号)、鷲神熊野神社(仮社殿)。10:00 女川水産体験館「あがいんステーション」見学。13:00 いのちの石碑(5号)、女川町保福寺【講話(予定)】。17:00 女川町万石の里【講話(予定)】

#### 3日目 【11月23日(月・祝)】

08:30、金華山へ渡り踏査。12:00、黄金山神社にて新嘗祭。14:00、帰途に着き、渋谷着 22:00の予定。

#### ・ 申込方法

参加希望者は、申込書(別紙)に記入して渋谷キャンパス國學院大學博物館(AMC棟地下1階)に提出してください。メールでの申し込みも可(詳細裏面)。

#### ・ 定員と申込締切

定員15名。締切は、**11月5日(木)**。希望者が定員を超えた場合は抽選となります。

#### ・ 問い合わせ先

神道文化学部：黒崎浩行(内線513)  
若木タワー17階/03-5466-4452  
國學院大學博物館：深澤太郎(内線159)  
AMC地下1階 博物館/03-5466-0346  
taro(a)kokugakuin.ac.jp

■ **費用**：合計15,000円程度(現地で各自お支払い頂きます)。

宿泊費11,000円、水産体験2,500円、保険料200円程度、食費、その他。

## スタディツアー「陸奥金華山と石巻・女川の震災復興に学ぶ」 参加申込書

● 申込書提出先：國學院大學博物館（受付担当：國學院大學博物館・学術資料センター 深澤）

※ 博物館エントランス左手の博物館事務室にお声掛けください。

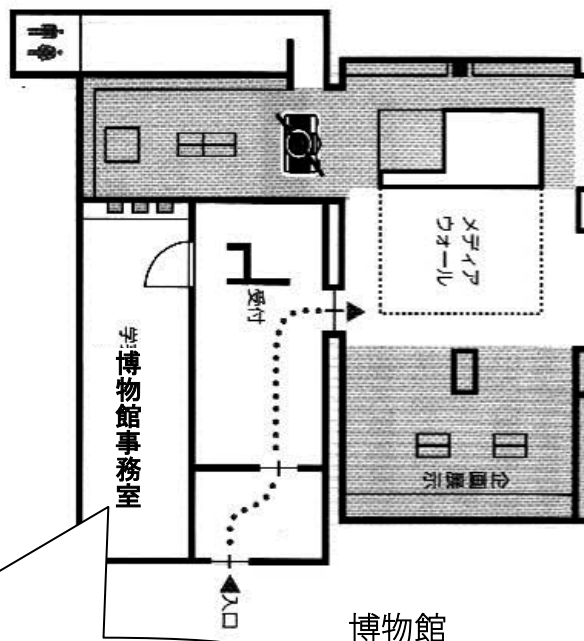
フリガナ				性別	男 ・ 女
氏名	印				
学部・学科・学年： _____ 学部 _____ 学科 _____ 学年 _____ 研究科・専攻・学年： _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 学年 _____ 学籍番号： _____ 出席番号： _____					
住所	〒 _____				
電話	自宅： - -	携帯： - -			
Eメール	PC： _____	携帯： _____			
緊急連絡先	電話： - -	あなたとの関係： _____			
生年月日 (保険加入用)	1 9 _____ 年 _____ 月 _____ 日				
食物アレルギー	無 ・ 有 (具体的な食物名 _____)				

※ 記載して頂いた個人情報は、ツアー関連の事務以外には使用しません。

※ 上記の項目を記載したメールでも申込可能です。深澤 (taro(a) kokugakuin. ac. jp) まで。

### 注意事項

- \* 11月11日(水)の19時より、事前説明会を実施します。当日は、「ツアーの趣旨」・「金華山の歴史」・「東日本大震災と石巻・女川」について理解を深めます。
- \* 必要な経費は、現地でお支払いいただきます。総額15,000円を超えることはありませんが、個人的な土産代などは各自ご用意ください。
- \* 往復の車中は狭くなるので、手荷物は極力少なくしましょう。車両に、大型の荷物は積みません。
- \* 3日目は、金華山の参拝と島内の踏査を実施します。作業に適した衣服(事前説明会で指示)を持参すること。
- \* 帰京後、改めて報告会を行い、ツアーの様子は、当機関の機関誌に掲載する予定です。



受付担当の深澤はこちら(不在の場合はスタッフにお預けください)。